



# TSUNAGI

つなぎ議会だより

5  
MAY

新しい生命が  
町を元気にする



令和4年度当初予算審議  
特集  
議会改革特別委員会最終報告  
一般質問 4人が登壇

長男 大樹くん(2月15日生)

つなぎ議会だより

2022.5

発行：熊本県津奈木町議会  
編集：議会広報編集特別委員会

〒869-5692 熊本県章北郡津奈木町小津奈木2-1-23  
☎0966-78-5351

印刷：旭印刷株式会社

## 夢つなぎ人

第12回

町内唯一の有機JAS認定者  
安全・安心な農作物を津奈木から

わらく農園  
山崎幸治さん(竹中)



「土づくりと農業技術で有機農業はより身近になります」と話す山崎幸治さん。  
写真 これから収穫を迎える「スナップエンドウ」

「これ美味しいね」小さい子どもたちが、目をキラキラさせながら自分の作った野菜をパクパクと食べてくれる。そんな姿を見てから安全・安心な食べ物を提供していけたらと思ったのが始まりです。

### 食物でつながりたい

12年前家庭菜園からはじめた有機農法でした。津奈木町の自然農法講習会を定期的に催していたが、農業技術の理解が深まりました。現在では古中尾地区を中心に64アール、約20種類の野菜を生産しています。

私が生産している有機野菜は、有機農業の中でも自然農法に近い農法ですが、経営面を考え5年前に有機JAS認定を取得しました。

有機農法も、現在全国的な広がりがあり、いろいろな情報を得ることで、収量と品質を向上することが出来るようになりました。

今後は、自分の取得したノウハウを生かして就農サポートも出来ればと思っています。

### 議会へ一言

農業は先行投資が大きく、また利益を得るためには時間がかかります。初期投資を抑え、誰もが有機農法をやってみようと思えるような政策を考えていただければありがたいです。また販路についても個人では限界がありますのでこれまで以上のサポートをもらえたらと思います。

### 編集後記

この時期になると、重盤岩とつなぎ温泉四季彩にこのぼりが泳ぎます。真新しい帽子、ランドセルを背負い登校する小学生をはじめ、一年の中でも、最も心が晴れやかなる季節です。津奈木町に住んでいて幸せだなとつくづく思います。

一方で、東欧のウクライナではロシアからの侵略により悲惨な状況が続いています。21世紀に入りこのような状況になるとは想像できませんでした。武力による他国への侵略など絶対にあってはなりません。

議会でも今定例会最終日にロシアのウクライナ侵攻に対する決議を全会一致で採択しました。平和な日々にも一日も早く戻れる事を心より祈ります。

(本山 真吾)

### 議会広報編集特別委員会

委員長	本山 真吾
副委員長	宮嶋 弘行
委員	澤井 静代
委員	新立 啓介
委員	大川 貴哉

3月  
定例会の  
あらまし

令和4年第1回津奈木町議会定例会が、3月4日～18日まで15日間の日程で開催されました。

令和4年度一般会計当初予算を主として、30議案（予算13・条例9・その他8）全て原案どおり可決・承認されました。

議会傍聴は、一般住民5人でした。

## 令和4年度の一般会計予算の概要

- 40億1,400万円で前年対比7億5,400万円増加。  
これは、前年度は災害関連予算が6月議会に持ち越し、当初予算に計上されていなかったため。
- 歳出では、災害復旧費が金額6億1,348万円の大幅増。
- 公債費（借入金返済）は2億6,177万円。前年度と同程度を計上。
- 主な事業は、地域商社推進事業、温泉センター施設補修事業、舞鶴城公園駐車場トイレ改築工事、B & G艇庫改修工事、小中学校LED更新工事など。

令和4年度の一般会計の総額は40億1,400万円。前年度対比23.1%と増えた。

主な事業では、令和3年度から地元企業育成・雇用確保を目的とする、地域商社推進事業を計上。これまで実施してきた「小さくて強いまちづくりプロジェクト」で開発された商品やサービス等の販路拡大を図り、町民所得の向上と稼げる町を目指す。今年度4,004万円、3年間で1億1,350万円を計画。

温泉センターでは、経年劣化により4,169万円の補修工事を計上。毎年のように行われる補修・改修工事は休館を伴うため、営業面でのマイナスや町民の利用ができないなど頭が痛い問題だ。

水産業で、漁船エンジン更新補助金を追加し、併せて燃油高騰対策支援事業補助金を新設し、漁業従事者への負担軽減を図っている。

教育費では、津奈木小学校体育館の大規模改修工事設計委託料をはじめ、小中学校のLED更新工事等が計上されている。

山田町長の公約の一つである観光の振興では、豪雨災害と新型コロナウイルス感染症の影響もあり、思うように進んでない状況だが、旧赤崎小学校プールを利活用した「入魂の宿」の公開や、美術館モノレールに引き続いて、今後はつなぎ温泉四季彩のモノレールも更新

が予定されている。

歳入では、地方交付税を、前年度より1億円増額し、14億6,000万円計上。国庫支出金は、4億5,561万円増額し、8億1,248万円計上した。

借入金に当たる町債は、4,880万円減り、1億8,660万円となっている。

## 議会の注目点

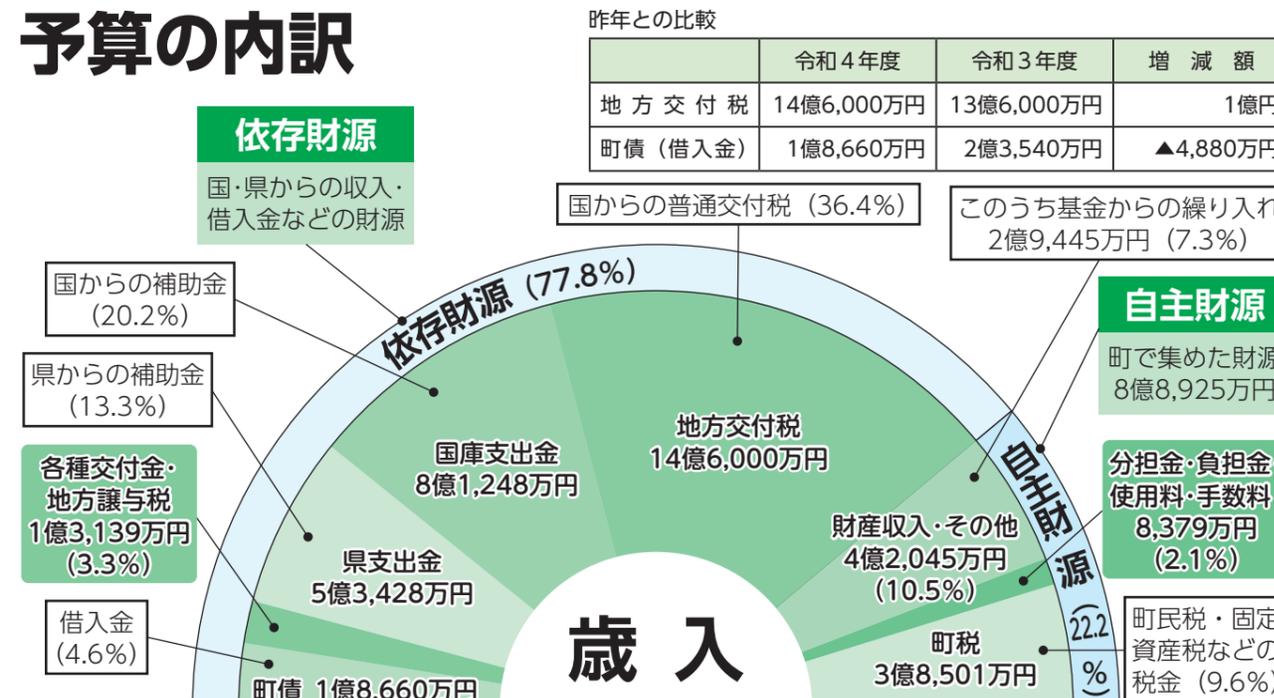
令和4年度は、令和2年7月豪雨災害復旧工事関連に加え、新型コロナウイルス感染症によって打撃を受けた第一次産業従事者や商工業者等の経営的復興を、どのように予算に盛り込むのかを注目した。

2期目の山田町政は、令和2年7月豪雨災害復旧関連工事をスピード感を持って、復興を成し遂げるのが最も重視される。しかしながら、その他の事業は、町が抱える問題点の解決に関しての対策がより必要と思われる。

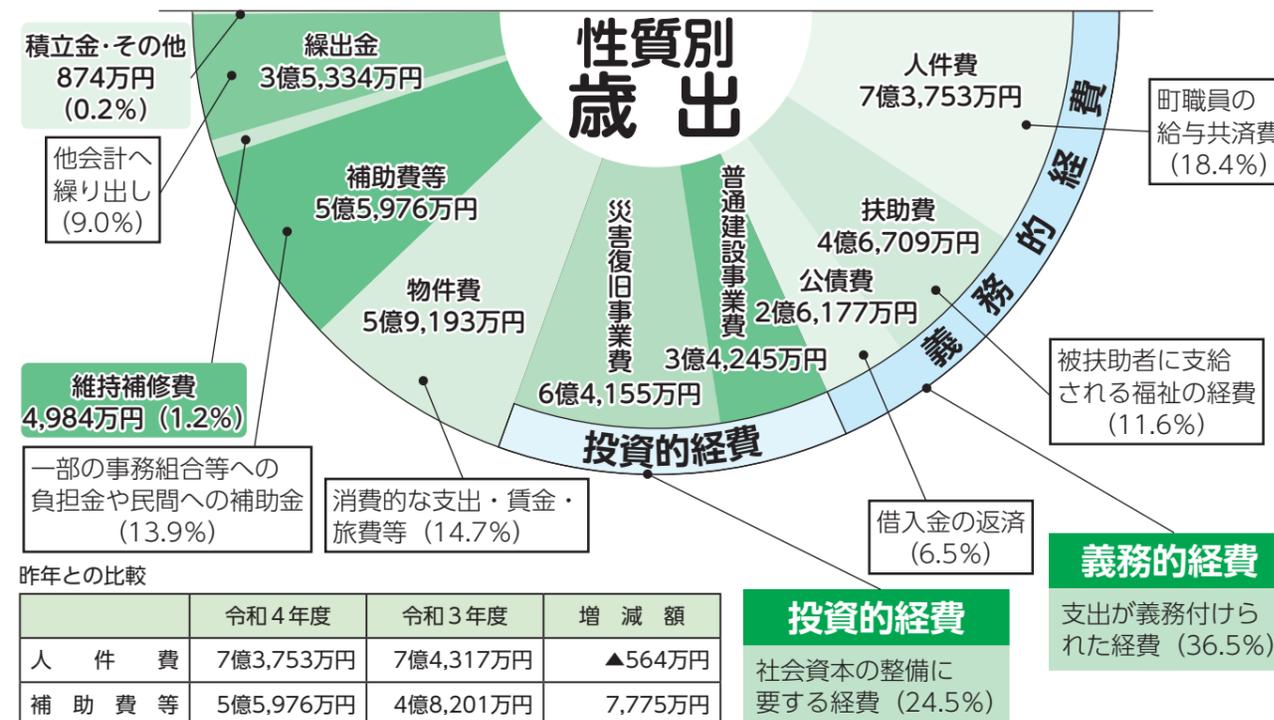
熊本県が掲げる「県南地域の創造的復興」に沿って、積極的な事業展開を図るべきではないかと思われる。議会は財政規律をチェックし、二元代表制の一翼を担い、町民の負託に応える。



## 予算の内訳



## 一般会計 40億1,400万円



災害復興に注力  
急がれる復興アフターコロナ対策も

地域商社推進事業の商品開発は

**問** つなぎ百貨堂の商品で町産品は10種類もないと思うが、地域商社推進事業で開発していく商品はどのくらいを予定しているのか。

**答** 事業期間中は、毎年10商品程度を開発していく。開発商品はふるさと納税の返礼品に登録し、継続販売及び販路拡大につなげたい。

舞鶴城公園駐車場トイレ改築後は

**問** 舞鶴城公園駐車場トイレ改築後は、現在の貯水タンクの容量で足りるのか。また、維持管理はどのように考えているのか。

**答** 行楽シーズンの使用頻度を加味しても十分足りると思われる。現在、トイレ清掃の受託者により適正に管理されているので、引き続き委託する予定。

入魂の宿の維持管理は

**問** 入魂の宿、植栽及びビオトープ管理など今後も経費がかかると思うがどう考えているのか。

**答** 入魂の宿は、5月21日に観覧を開始し、11月頃を目途に宿として運用していく。管理費については、なるべく経費を抑えながら運営していく。

防災行政無線の設置目的と財源は

**問** 防災行政無線基本設計業務委託料とあるが、設置目的と財源内訳はどのようになっているのか。

**答** 台風等で有線放送が聞こえなくなったこともあり、無線であれば情報を早く伝えられる。有線放送と防災行政無線との運用方法など、住民の声を聴きながら基本設計を行う。財源は、緊急防災対策事業債を活用する。

漁船エンジン更新等補助金は

**問** 漁船エンジン更新等事業補助金は実際の要望はどのようになっているのか。

**答** 漁協の調査では、令和4年まで22件の要望がある。

**問** 令和5年以降に17件の要望があるが、新規事業は3年を目安に見直し検討されていると思うがどうか。

**答** 事業期間3年ごとに見直していくので、漁業者の状況や事業効果等を考慮して判断する。

河川除草は

**問** 河川除草等業務委託はどこの河川を想定しているのか。

**答** 候補箇所の中で現地を確認して優先度の高い場所から実施する。

現場視察

入魂の宿、旧平国小学校外部改修工事・跡地利活用事業、宇戸永田線道路改良工事、残土処理場、つなぎ美術館照明改修工事、舞鶴城公園駐車場トイレ改築工事、古中尾地区中山間農業モデル事業、温泉四季彩施設補修事業



地域おこし協力隊の活用

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱し、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や農林水産業への従事、住民生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みで、令和2年度は全国で5,560人が活動している。

本町の令和4年度の隊員は、情報発信業務活動に1人、住民参画型アートプロジェクト推進業務に1人、つなぎ百貨堂と連携した町産品のブランド化と販路拡大業務に2人、地域商社推進業務に2人、つなぎFARM推進業務に1人、津奈木漁協と連携した水産業活性化プロジェクト業務に1人が活動を行っている。

今後、2人を募集し、10人体制で移住定住促進と地域の課題解決を図るべく、活動の取り組みが行われる。地域おこし協力隊の活動に期待したい。

簡易水道事業の今後

総務大臣から平成31年1月に人口3万人未満の市町村の簡易水道事業を平成31年から平成35年(令和5年)までに公営企業会計へ移行するよう要請があった。

簡易水道事業は、近年、施設の老朽化、人口減少等による料金収入の減少等、経営環境の厳しさを増している。経営状況と財政マネジメントの向上に取り組むことが求められるため、経営成績や財政状況など経営状況のよりの確な把握が可能となるように公営企業法を適用し、公営企業会計への移行が必要と考えたためである。要請を受け、本町の簡易水道事業についても、令和6年4月1日から、これまでの特別会計から、地方公営企業法を適用し公営企業会計への移行を予定している。

水道料金はどうなる

維持管理費や簡易水道統合事業による企業債償還金、今後の施設更新工事費等を考慮して料金の改正幅を精査している。現時点の試算では、基本料金の増額を見込んでいる。

委員会審議結果

事件の番号	事 件 名	結 果
議案第7号	記号式投票に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第8号	津奈木町職員の定数に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第9号	津奈木町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第10号	津奈木町報酬及び費用弁償条例及び津奈木町消防団の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	津奈木町一般職の職員の給与に関する条例及び津奈木町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第13号	津奈木町公園条例の一部改正について	原案可決
議案第14号	津奈木町残土処理場管理条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	津奈木町営住宅管理条例及び津奈木町定住促進住宅管理条例の一部改正について	原案可決
議案第16号	令和4年度津奈木町一般会計予算	原案可決
議案第19号	令和4年度津奈木町簡易水道事業特別会計予算	原案可決
議案第21号	令和4年度津奈木町恒久対策事業特別会計予算	原案可決
議案第22号	令和4年度津奈木町宅地造成事業特別会計予算	原案可決

## 国民健康保険税条例の改正は

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯について、18歳以下の均等割額の延長をすることだが、感染症収束後はどうなるのか。

**答** 現在、新型コロナ感染は先の見えない状況であり、影響のある間は減免を行う。また、国からの財源裏付けがつく以前から、町の子育て支援政策として町単独で実施しており、継続については今後の状況に応じて判断したい。

## 敬老祝金は

**問** 敬老祝金の支給を受ける対象者はどのくらいいるのか。また90歳の卒寿よりも88歳の米寿が大事だと高齢者の方々は言われるが、88歳に祝金を支給してはどうか。

**答** 支給対象者は、80歳が59人、90歳が40人、100歳が9人になる。祝金を88歳に統一支給する意見も検討されたが、議会の意向をふまえて現在の運用になっている。

## 津奈木保育園の今後は

**問** 保育園費の消耗品費100万円の内容は。

**答** 通常の消耗品に加え、新型コロナウイルス感染症対策を行うための消毒液等の購入費や、抗原検査キットの購入を予定している。補完的な対策として抗原検査も職員に対して実施する予定である。

**問** 保育園の防水等改修工事を行うが、令和5年度も保育園の民営化に向けて、補修などを行うのか。また民営化について保護者への意見聴取等をするのか。

**答** 具体的な施設のことについては、今の施設を維持していくことを第一に考えている。民営化した後、大規模な改修等あれば補助金を出すこと

になるため、国や県と協議をしながら進めていくことになる。意見聴取等については、保護者へ保育園民営化基本方針を送付し、別途パブリックコメントも実施し、意見聴取することとしている。

## 中学生の学力強化は

**問** 熊本県の中学校学力状況調査で英語については優秀だが、数学が低下傾向にあるとの話を聞いている。教育委員会はどのように対応するのか。

**答** 英語については、英検補助やALTの2人体制など充実した環境を整えてきた。数学については、芦北教育事務所学力向上委員会等で協議をしているが、教育委員会としても調査結果を踏まえ、学校と協議をしたい。

## B & G艇庫の改修工事は

**問** B & G艇庫改修工事で、外装の改修を行うとあるが、艇庫内部の改修は行わないのか。

**答** 今回は外装を中心とした工事で、艇庫内部の改修については予定していない。今後、検討をしたい。

## 現場視察

平国運動公園、赤崎運動公園、B & G海洋センター艇庫、児童公園、津奈木小学校体育館、津奈木中学校体育館



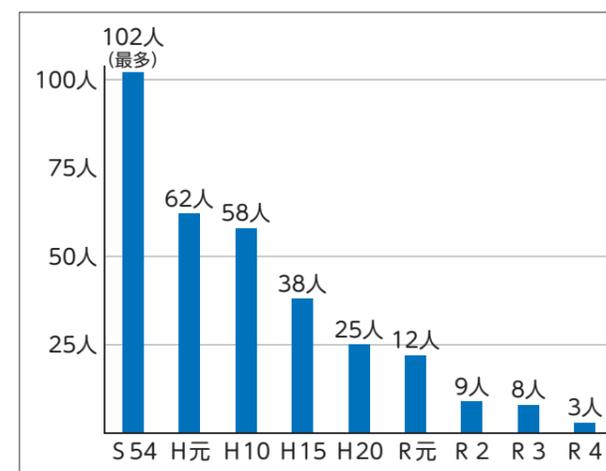
## 惜しまれる津奈木幼稚園の閉園

昭和49年度から続く津奈木幼稚園。最多で102人の園児が在籍していた時期もあったが、本年度には3人の在籍となった。

今後の幼稚園運営の在り方については、教育委員会と総合教育会議で検討され、令和5年3月末をもって閉園する事が決定した。

当委員会でも多くの提言や議論をしてきたが、少子化の現状にある本町にとっては、やむを得ないと考えている。

津奈木幼稚園を卒園するはずだった園児の受け入れ先の確保や保護者への支援と幼稚園職員の処遇、閉園後の施設管理などが滞りなく進められるよう、当委員会も積極的に協力していきたい。



津奈木幼稚園 園児数の推移

## 加速する津奈木保育園の民営化

県の指導により、保育園民営化に向けた具体的な計画を策定するために、本町では平成30年度に「津奈木町立保育園民営化検討委員会」を設置し議論され、また、保護者へのアンケート調査等を行い、民営化はやむを得ないと結論が出された。

民営化により、保育サービスの充実や質の向上が期待され、また、私立保育園には国から補助金が適用されるため、少子化の中で、より良い保育園運営ができ、子供達を取り巻く環境の改良が見込まれる。

しかし、民営化に伴い園児たちへの配慮と、保護者への理解や協力が必要と考えられる。

議会としても、しっかりと園児や保護者の皆さんに寄り添った民営化移管になるように取り組んでいきたい。

## 民営化への今後の予定

- 令和4年度**
  - 民間法人の選考
  - 民間法人の決定
  - 施設等の無償譲渡議案の提出
- 令和5年度**
  - 津奈木町・民間法人の共同保育
  - 条例の改正
- 令和6年度**
  - 4月1日 民間法人への完全移管

## 委員会審議結果

事件の番号	事件名	結果
議案第12号	津奈木町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第16号	令和4年度津奈木町一般会計予算	原案可決
議案第17号	令和4年度津奈木町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第18号	令和4年度津奈木町後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決
議案第20号	令和4年度津奈木町介護保険事業特別会計予算	原案可決

# 議会の変化と進化を求める

「町民に開かれた議会」「議会力・議員力の向上」の実現のため

津奈木町議会は、平成31年4月の町議会議員選挙において、定数10人に対して立候補者が9人と初めての定数割れとなった。このことから、議会として議員のなり手不足に危機感を覚え、令和元年12月定例会において「議会改革特別委員会」を発足し、以下の12項目を議会改革の柱として、計24回に至る検討を行なった。

## 1 議会基本条例制定

15回協議

町民福祉の更なる向上を目指し、町政の意志決定機関として、自らの役割と責務を認識し町民の負託に応えるべく、令和4年3月定例会において、新たに条例を制定した。

## 2 会議録の公開

3回協議

定例会及び臨時会における会議録の公開は、町HP等を活用して実施している。委員会を含めた各種会議の会議録の公開は、引き続き協議を重ね、実施する。

## 3 一般質問の一问一答方式

7回協議



一般質問による一问一答方式は導入済みであり、案件や議案に対する審議を十分深めることができている。

## 4 傍聴の推進

3回協議

有線放送や町HP等を活用し、周知を行うとともに、議会だよりの充実を行う。また、幅広い層に議会に対する関心を深めてもらうために、こども議会の開催等を推進する。



## 5 日曜・夜間議会の開催

3回協議

現段階での実施は見送る。

## 6 議会報告会

5回協議

町民等との対話集会として行うものであり、開催方法などは、引き続き協議・検討をする。

## 7 一般会議

7回協議



町内で活動する各種団体と問題点や課題等について協議し、解決のための調査研究を行う。令和3年に2団体との意見交換を実施している。

## 10 定例会前の勉強会

5回協議



執行部提案における、議案等の要点の共有を図る。

## 12 タブレットの導入

9回協議



ペーパーレス化及びコロナ禍におけるテレワークの推進等として議会タブレットを導入する。今後、運用するにあたり、活用方法等を検討する。

## 8 議会モニター制度

5回協議

モニター委員を選任し外部評価を行うものであるが、社会情勢等を考慮し、実施に向け協議・検討を重ねる。

## 9 定例会後の反省会

8回協議

政策や予算執行等について、質問と答弁に関する反省や検証を行い、今後の課題を明確にする。



## 11 まちなかカフェDE議会

5回協議

現段階での実施は見送る。

### …… まとめ ……

議会改革は、町民の負託に応えるために議会活動の充実を図り、日々研鑽することが重要です。

今後は、議会運営の充実のため、新たな事案等は、議会運営委員会並びに全員協議会において、審議・検討することとします。

議会改革特別委員会委員長 宮嶋 弘行



## 宿泊施設で町へ活力を

宮嶋 弘行 議員

### 観光まちづくり拠点整備を

**問** 宿泊体験とワーケーションに関する実証実験の結果は。

**答** 【政策企画課長】 「津奈木いろいろ旅の宿と温泉まがりオフィス」として実証実験を行った。最新型のトレーラーハウスやキャンピングカー、テントを連携した宿泊と施設可能な利用を提供し、43日間で予約件数が119件、宿泊件数が92件で延べ230人の方が利用された。稼働率も軒並み高かった。

### 宿泊体験者への感想を伺いました。

冬場の寒い期間ではあったが、トレーラーハウスとキャンピングカーはエアコン完備のため過ごしやすく、テントに関しては、天候の良し悪しにより、多少の不安を感じられたが、家族内での気軽な宿泊体験ができた。また、今後のために町の魅力を活かせる発想を沢山いただき、宿泊施設の新たな取り組みとして、検討する必要があると考えられる。



災害時の避難宿泊にも対応できる、トレーラーハウス

**問** 宿泊と仕事をセットとした実証実験だが、今後の考えは。

**答** 【政策企画課長】 第7次水俣芦北振興計画に、つなぎ温泉四季彩周辺魅力アップ事業と

して計上している。令和5年度には実施計画し、令和6年度には工事施工の予定である。

国の環境首都水俣・芦北地域創造施設整備事業補助金で実施検討したい。

### トイレ利用も心地良く

**問** 舞鶴城公園駐車場トイレ改修工事について、どのような改修なのか。

**答** 【総務課長】 現在の男女共用利用を別々にし、バリアフリートイレ（多目的トイレ）に改修する。建物は、片屋根式RC鉄筋コンクリート構造で建設する。

**答** 【町長】 舞鶴城公園のイメージにあった考えで山小屋風的なトイレとして考えている。



長島町のトイレは、景観を望みながら利用できる、大きなガラス張りになっている。

**問** トイレ改修後の管理として、目が行き届きにくい場所だが、どのような管理をするのか。

**答** 【総務課長】 現在、個人に業務委託をして、舞鶴城公園と鎧ヶ崎公園の月4回程度の清掃管理を行っている。同様の管理を予定している。

## 基幹産業の維持発展は

新立 啓介 議員

### 耕作放棄地解消のために

**問** 過去3年間で町支援事業によって解消・防止された面積はいくらあるのか。

**答** 【農林水産課長】 支援事業による解消・防止面積は1.7haである。

**問** 令和4年度の耕作放棄地解消発生防止基盤整備事業補助金は、7割補助から5割補助に減少しているが、事業を推進するために7割に戻す考えはないのか。

**答** 【町長】 検討をさせていただきたい。

### 基幹作物の具体的支援策は

**問** 施政方針で基幹作物である柑橘類やサラダ玉ねぎのさらなる振興や品質向上に向け支援を行い、農家の所得向上を図るとのことだが具体的支援策を伺う。

**答** 【農林水産課長】 柑橘安定出荷販売支援事業補助金、サラダ玉ねぎ次期作付支援補助金、他5補助金を本年度の支援策として予算計上している。

**問** 柑橘安定出荷販売支援事業補助金などは従来からの支援事業と思う。令和3年度に新型コロナ対策事業で雇用確保が困難になった農林漁業者に対する高性能処理機械導入経費の補助事業があったが、これを町単独でできないのか。

ほかに新たな支援策はないのか。

**答** 【町長】 新たにいろいろ行くと予算が伴うので、予算の範囲内で取り組んでいきたい。

### つなぎFARMの今後は

**問** つなぎFARM事業に3年間取り組んだ地域おこし協力隊員の活動の課題として、栽培技

術が確立されていない。販路が確保できていない。農地が確保されていない。自然栽培農家としての農業経営の現実が把握できていないとの報告があった。これらの課題解決に向けて、町の取り組みと考えを伺う。

**答** 【農林水産課長】 生産技術と生産体制の整備が必要であり、他地域の認証基準等を参照に制定を行う。また、販路拡大、ブランド化の推進等生産者の増加による農産物の安定確保を図り、新商品の開発等引き続き支援を行う。

### 地域商社推進事業は

**問** 地域商社推進プロジェクトに3,500万円、予算計上されているが中身が見えない、地域商社設立に向けた現在の進捗状況について伺う。

**答** 【政策企画課長】 令和3年度を初年度に5年度設立を目指し事業を推進している。現在、地域事業者約20名を中心にワーキング会議を設置し、専門家の意見を踏まえながら検討を重ね、その必要性を共通認識ができた。具体的な機能や運営体制について、各地の先進事例調査を実施し、一定の方向性を示したい。

**問** 地域商社推進事業は、国の地方創生推進交付金が活用されているが、令和5年設立後の運営の方法と財源等について、どのように考えているのか。

**答** 【政策企画課長】 地域商社の大きな機能として、ビジネスを創出して外貨を獲得し、地域内経済循環の促進をしていくこと。地域商社の収益性と公益性をどのように追及していくか、様々な方法があり、サービスや経営体制で得られる収益も様々であるので、今後しっかり検討していく。



## つなぎFARMと 慣行農業の兼ね合いは

本山 真吾 議員

### 津奈木町の農業振興について

**問** 「つなぎFARM」の定義と現状は。

**答** 【農林水産課長】 つなぎFARMの定義は、「正しい食と農」、「環境を未来へつないでいくための取り組み」としている。現在、講習会参加者10人、生産者が7人、作付面積約2.7ヘクタールで、収量・収入金額については不明となっている。

**問** 農林水産省では「みどりの食料システム戦略」を策定し、2050年までに耕作面積に占める有機農業の取り組み面積を25%にするという目標を掲げている。「つなぎFARM」で生産された農作物は、有機JAS認定を勧めないのか。

**答** 【農林水産課長】 有機JAS認定は農林水産省に登録された第三者機関に認証を受けなければならないが、作業日誌・伝票等の記録・管理が必要で、また有機栽培技術の確立が必要となるため、つなぎFARMでは独自の認定基準を勧めていきたい。

**問** 「つなぎFARM」は環境配慮型農業、究極的には無肥料無農薬をすすめる自然農法いわゆる民間農法だが、農薬・化学肥料を使う一般農家とのトラブルについては、どう対処するのか。

**答** 【農林水産課長】 町としては、自然栽培と慣行栽培の農地は集団化によるすみわけが必要でないかと思っている。

**答** 【町長】 津奈木町は慣行農業が主流で、環境配慮型農業とはサブ的なものだろうと考えている。

### 農業を通じた移住定住政策について

**問** 移住定住者向けの農地の確保状況はできているのか。

また、サポート体制は十分か。

**答** 【農林水産課長】 現在、芦北地方農業振興協会で県・市町、農業委員会・JAによるプロジェクトチームをつくり、園地情報を共有しながら農地の確保と移住、就農希望者とのマッチングを行っている。現在本町での園地の確保はできていない。サポートは町の青年等就農計画の認定を受けると農業次世代人材投資資金の交付が受けられる。

本町独自の制度では、就農奨励金や農業用機械等取得補助金、農業体験事業補助金等により支援を行っている。



就農された鍵田さん夫婦（平国上）と田代さん（大泊）協議会のサポートを受けながら、果樹栽培に頑張っておられます。

### 省力化機械導入への補助について

**問** 農家負担を減らし経営を維持していくためには、省力化に関する機械導入は欠かせないものとなっている。省力化機器導入のための新たな補助事業を設立できないか。

**答** 【町長】 サービスを必要とする受益者や、それを管理する事務局の問題等が決定するならば税金の使い道としては良いと思われるので検討をしたい。

## つなぎ美術館 今後の運営方針は

澤井 静代 議員

### 変わりつつある方向性

**問** 平成13年につなぎ美術館が開館し、平成20年度から住民参画型アートプロジェクトに取り組まれているが、本町は昭和59年に「緑と彫刻のある町づくり」をメインテーマに掲げ、取り組まれてきた経緯がある。美術館の今後の方向性は。

**答** 【政策企画課長】 38年前に始まった「緑と彫刻のある町づくり」は、時代の変化とともに公共彫刻を取り巻く社会の評価が変わりつつある。

最近では現代アートで、時代の流れに沿うような方向で、町のアートを進めている。

**問** 令和3年度には、ユージン・スミスさん、アイリーン・美緒子・スミスさんの写真展が記念事業として開催され、その写真が寄贈されたとのことであるが、今後どのように活用されるのか。

**答** 【町長】 津奈木の風景、近辺の風景など、時代背景として後世に伝えていく意味で、つなぎ美術館に展示をしたいと考えている。

### どうする 維持管理

**問** アーティストの作品が制作をされているが、今後の維持管理についての考えは。

**答** 【政策企画課長】 収蔵庫で保存される作品は、定期的に公開をしながら、適正な温度湿度管理の下で保管されている。

屋外の作品は、製作者である作家の了解を得ながら専門的な知識と技術を有する方に依頼して作品の現状維持に努めている。

現状維持を基本として、経費をなるべく抑えながら作品の芸術性や価値を下げないように維持していきたい。

**問** 旧赤崎小にできる柳幸典プロジェクトの作品は、どのような計画で進められているのか。



**答** 【政策企画課長】 入魂の宿は、プールを活用した宿泊機能を有するアート作品で、5月21日の公開を予定している。

宿泊機能としては、令和4年11月頃からの運用開始に向け作業を進めている。維持管理費を、今年度は419万9,000円計上している。収入は、観覧料、宿泊料を徴収し、また、美術館が今後行う企画・運営・野外作品の彫刻の維持管理等を目的に、ふるさと納税等も活用していきたい。

### 改善センターのトイレ改修は

**問** 改善センター調理室の改修が実施されたことで、トイレの老朽化が目立ってきている。改修の計画等はないのか。

**答** 【総務課長】 令和3年3月の津奈木町公共施設等個別施設計画策定において、改善センターの管理に関する実施方針では、施設の定期的な管理を行い修繕が必要な箇所があった場合は、修繕料で対応することになっている。現状は、壁のタイルなどの損傷が見られるが、修繕で対応できると考えている。暗い女子トイレは、LED化等で考えていきたい。

### 実施を望む防災訓練

**問** コロナ禍ではあるが、住民に対する防災訓練について、町の考えは。

**答** 【総務課長】 命を守る行動に対する意識を高めていただくため、自助共助を主とする自主防災組織の強化を現在取り組んでいるところであるが、それらを含めて住民の防災訓練や避難訓練等を、今後実施する必要があると考えている。

## 【3月補正予算審議の結果】

令和3年度一般会計補正予算（第6・7号）は、歳入歳出にそれぞれ5,470万円を減額し、総額41億9,470万円とするものです。

採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

### 主な補正予算

- ・歳入では、普通交付税、ふるさと納税寄付金など1億1,768万円を増額し、球磨川流域復興基金、臨時財政対策債、災害復旧費補助金など1億7,238万円を減額。
- ・歳出では、私立保育所等運営委託費、ふるさと納税推進事業など7,270万円を増額し、旧赤崎小学校低学年棟デッキ化事業、災害復旧事業など1億2,740万円を減額。
- ・河川補助災害復旧事業他25事業4億9,624万円を令和4年度に繰越。

### 議員発議

発議第1号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書
発議第2号	議会改革特別委員会に関する事務調査報告
発議第3号	津奈木町議会基本条例の制定
発議第4号	ロシアのウクライナ侵攻に対する決議

## 津奈木町議会基本条例

### 制定の理由

近年の地方分権の進展や社会情勢の変化に伴い、議会が果たす役割はますます大きくなってきています。町政の一翼を担う議会としては、その果たすべき役割を明らかにし、町民に分かりやすい議会、参加しやすい議会となることが求められています。

そうした中、津奈木町議会では、平成31年4月の町議会議員選挙において定数割れとなったことから、議会改革特別委員会を設置し、この議会基本条例の制定に関する件を含めて、町議会における議会改革について様々な協議検討を行ってきました。

議会は、二元代表制で合議制・独自性という、特性を活かして町民福祉の更なる向上を目指した町政の意志決定機関でありますので、自らの役割と責務を認識し、町民の負託に応えていくために、津奈木町議会の最高規範として、この条例を制定するものです。

### 条例に定める主な項目

- 前文
- 第1章 総則（第1条）
- 第2章 議会及び議員の活動原則（第2・3条）
- 第3章 町民と議会の関係及び連携（第4条）
- 第4章 町長等と議会の関係（第5－8条）
- 第5章 合議機関としての議会（第9条）
- 第6章 議会及び議会事務局の体制整備（第10－13条）
- 第7章 災害時の議会対応（14条）
- 第8章 議員の身分、待遇及び政治倫理（第15・16条）
- 第9章 最高規範性及び見直し手続（第17－19条）

## 議会のうごき

### 【3月】

- 4日～18日 第1回議会定例会
- 24日 新議員研修会
- 31日 議会広報編集特別委員会

### 【4月】

- 4日、11日、14日、18日、21日 議会広報編集特別委員会
- 20日 総務振興常任委員会
- 21日 教育住民常任委員会
- 21日 県議長会議員要望活動

### 【5月予定】

- 中旬 総務振興常任委員会
- 教育住民常任委員会
- 19日 県議長会臨時総会・議長研修会
- 30日 全国議長会議長・副議長研修会
- 31日 県国会議員への要望活動

### 【6月予定】

- 上旬 議会運営委員会
- 中旬 第2回議会定例会



総務振興常任委員会



教育住民常任委員会



議会運営委員会

### 議会と意見交換しませんか

～あなたの思い、伝えてください～

議会では、議会改革の一貫として、各種団体・グループとの意見交換会を開催しています。ご希望の方は、事務局にお問い合わせください。



4月20日、JA女性部と総務振興委員会との意見交換会

### 委員会も傍聴できるようになりました

～議会・委員会を傍聴に来ませんか？～

3月定例会で津奈木町議会基本条例が制定された結果、本会議のほか各委員会も傍聴できるようになりました。

傍聴を希望される際は、議会事務局にお問い合わせください。

問い合わせ

議会事務局 ☎0966-78-5351